

社保シリーズ

# 歯周病と分割抜歯後の補綴

9

社保研究部

今回は歯周病で分割抜歯後にブリッジを装着した症例を解説する。

### 〈症例解説〉

歯周外科であるFOPは、実施前までに1口腔単位で歯周基本治療が終了してはならない(下図)。症例に現れていない初診日からFOP・分割抜歯に至るまでの療法・処置を補っておきたい。

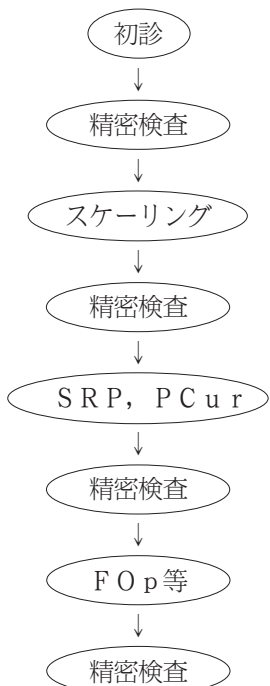
初診日にポケット測定とX線撮影を行い、 $\overline{6}$ の遠心から頬側にかけて深いポケット形成を認めた。抗生剤と消炎鎮痛剤を処方し、歯肉腫脹の軽減を図りながら歯周基本治療に着手した。全ての部位にSRPが終了した後、3回目の歯周組織検査(精密検査)を実施し、 $\overline{4-7}$ はポケットの改善が見られないのでFOP、6番の遠心根は分割抜歯した後に $\textcircled{6} \textcircled{6} \textcircled{7}$ MTのブリッジにする計画を立てた。 $\overline{4-7}$ 以外はポケット4mmを境にソウハ術または再SRPを実施している(9月中に終了)。

さて、分割抜歯の対象になった $\overline{6}$ はPer, AAなので初診月に分割抜歯し、腫脹部の改善を図りながら歯周治療を進めてもよかった。その場合には、同一手術野の同時手術にはあたらないので、分割抜歯とFOPの両方が算定できる。

また、FOPに際して人工骨を填入した場合は、手術野単位で人工骨填入110点と人工骨の材料料(ボーンジェクトは1g708点)が別途算定できる。

サージカルパックはFOPの所定点数に含まれるが、脱落などの事情から異日にサージカルパックを再包装した場合は、特定薬剤として16点(1/3顎)が算定できる。

図 歯周外科の流れ



分割抜歯後のブリッジ

	保存歯根	支台歯	ポンティック
上顎	頬側1根	小白歯	小白歯
	口蓋側1根		
	頬側2根	大白歯	不用
	1根のみ	×	×
下顎	近心根	小白歯	小白歯
	遠心根		

FOPは1/3顎単位のため、6番は同一手術野となり、分割抜歯の費用が別途算定できない。

ブリッジタイプはポンティック部も1歯につき50点を算定する。「 $\textcircled{6} \textcircled{6} \textcircled{7}$ MT」の病名が必要。

FOPは基本治療終了後の精密検査によって、適否を判断するので、この日の歯周組織検査は初診から数えては4回目以降となる。

大白歯の4/5冠は生活歯でブリッジの支台歯に限り認められる。

部位	傷病名	診療開始日
$\overline{6}$	Per, AA	平成19年8月16日
$\overline{4-7}$	P <sub>3</sub>	平成19年8月16日
$\begin{matrix} \overline{7-4} & \overline{4-7} \\ \overline{7-4} \end{matrix}$	P <sub>2</sub>	平成19年8月16日
$\begin{matrix} \overline{3} & \overline{3} \\ \overline{3} & \overline{3} \end{matrix}$	P <sub>1</sub>	平成19年8月16日
$\textcircled{6} \textcircled{6} \textcircled{7}$	MT	平成19年10月1日
〔年齢〕 36歳, 女性		
〔主訴〕 歯茎が腫れて強く噛むと痛い		
〔所見〕 $\overline{6} \textcircled{7}$ 隣接部から頬側部にかけて歯肉腫脹		

月日	部位	療法・処置	点数
10/6		再診	38
		P管理<文書提供>	100
		治療計画どおり $\overline{4-7}$ 部FOP実施	/
	$\overline{4-7}$	浸麻(OA+2%キシロカインc t 1.8ml)	/
	$\overline{6}$	歯冠・歯根分割, 遠心根抜歯	/
	$\overline{4-7}$	FOP 2糸縫合 サージカルパック	1000
	$\textcircled{6} \textcircled{6} \textcircled{7}$	歯周治療用装置(冠形態装着) (50×3)	150
		処方せん	68
		㊦セフゾン100mg 3C分3×2日	/
		㊨ロキソニン2T×2回	/
10/15		再診	38
	$\overline{4-7}$	サージカルパック除去, 抜糸, SP(アクリノール)	/
〔10月分 2日分 1,394点〕			
11/1		再診	38
		$\overline{6}$ および $\overline{4-7}$ 部経過良好	/
	$\begin{matrix} \overline{7} & \overline{7} \\ \overline{7} & \overline{7} \end{matrix}$	歯周精密検査<検査結果略>	400
		P管理<文書提供>	100
		病状安定を認めSPTへ移行	/
	$\overline{6}$	近心根メタルコアimp	/
		P-SP(アクリノール)	/
11/9		再診	38
	$\textcircled{6} \textcircled{6} \textcircled{7}$	補診<文書提供>	100
		$\overline{6}$ 小白歯FCK, $\overline{7} \textcircled{4/5}$ 冠のブリッジ作製	/
	$\overline{6}$	メタルコアset	172
		失PZ(FCK)+メタルコア加算 (160+30)	190
	$\overline{7}$	浸麻(OA+2%キシロカインc t 1.8ml)	/
		生PZ(4/5冠)	300
	$\textcircled{6} \textcircled{6} \textcircled{7}$	平測 平行ミラーを用いて確認	50
		連imp(寒天+アルジネート)	275
		BT	70
		リテイナー 仮セ (100+4×2)	108
11/16		再診	38
	$\textcircled{6} \textcircled{6} \textcircled{7}$	ワンピースキャストブリッジ仮着	40
		仮セ (4×2)	8
11/22		再診	38
	$\textcircled{6} \textcircled{6} \textcircled{7}$	ワンピースキャストブリッジset	150
		$\overline{6}$ 12%金バラFCK	600
		$\overline{6}$ 12%金バラ鑄造ポンティック	615
		$\overline{7}$ 12%金バラ4/5冠	482
		接着材料料II(グセ) (12×2)	24
		補管<文書提供>	330
〔11月分 4日分 4,166点〕			